

## 会 議 録

<b>会 議 名</b>		第 59 回 八王子市ごみゼロ社会推進協議会			
<b>日 時</b>		令和 3 年(2021 年) 2 月 5 日 (金)	開始	午後 2 時 00 分	終了 午後 3 時 00 分
<b>場 所</b>		八王子市役所 本庁舎事務等 8 階 802 会議室			
<b>出席者</b>	<b>委 員</b>	石井委員、鈴木委員、加地委員、間嶋委員、平林委員、計委員、 押山委員、清水委員、安瀬委員、中村委員、上村委員、大貫委員 以上 12 名			
	<b>事務局等</b>	守屋資源循環部長、木下循環型都市推進専門管理官、真辺ごみ減 量対策課長、森田ごみ総合相談センター所長、  【ごみ減量対策課】林課長補佐、田代主査、河井主査、前川主査、 日下主任、小口主事、森田専門員  【ごみ総合相談センター】小川専門幹			
<b>欠 席 者</b>		佐戸委員、天野委員  以上 2 名			
<b>議 題 等</b>		1. 座長・副座長の選出について 2. 令和 4 年度開始予定のごみ・資源物の収集及び処理体制の 見直しについて 3. 令和 2 年度 市内各店舗でのマイバッグ持参率について			
<b>公開・非公開の別</b>		公開			
<b>傍 聴 人</b>		なし			
<b>配布資料</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議次第</li> <li>・ 八王子市ごみゼロ社会推進協議会 席次表</li> <li>・ 第 58 回ごみゼロ社会推進協議会 委員名簿</li> <li>・ 八王子市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例・規則</li> <li>・ 資料 1 令和 4 年度開始予定のごみ・資源物の収集及び処理体制の見直しについて</li> <li>・ 資料 2 令和 2 年度 市内各店舗でのマイバッグ持参率について</li> </ul>			

## 1. 座長・副座長の選出について

(委員の推薦及び座長の指名により、石井委員が座長、加地委員が副座長に選任)

## 2. 令和4年度開始予定のごみ・資源物の収集及び処理体制の見直しについて

### 【意見、質疑応答等】

委員：広報等では学生に周知が行き届くか不安があるので、オンラインでの動画配信は良い方法だと思う。この他、大学で動画を流す等の周知も検討してほしい。

市：大学に働きかけを行い、学生にも周知していきたい。

市：資料に記載されている周知方法の他、環境フェスティバルでの啓発、ごみ・資源物の収集車両に周知内容を示すマスクの設置、八王子駅北口地下駐車場の自由通路やはちバスでの掲示を検討している。あらゆる機会を用いて周知徹底を実施したい。

委員：剪定枝の収集を新たに始めるということだが、可燃ごみを一緒に出していても、回収されないことがある。剪定枝だけをだして、回収されるかどうか不安である。

市：万が一、未回収が発生した際は、市に連絡してほしい。再回収を行わせていただく。

委員：剪定枝を排出する際は、ひもで縛った方が良いのか。それとも袋に入れたほうが良いのか。

市：袋は異物になるのでひもで縛って出してほしい。

委員：バラを少量出すことがあるが、そのような場合でもひもで縛った方が良いのか。

市：とげがあるものを資源化の対象とするのか、検討している最中である。市民の方に分かりやすいよう、カレンダーで簡単な図を交えながら周知していきたい。

委員：八王子駅北口のモニターを使用したり、J:COMでテロップを流したりはできるのか。

市：八王子駅正面ビルに設置されている大型モニターは難しいが、ロータリーにある河川情報表示板は使えるかもしれないので検討する。J:COMについては、番組を放送する予定である。

委員：この期間に周知して終わりということではなく、粘り強く啓発し続けることが必要である。

市：平成 22 年から分別回収を実施した容器包装プラスチックについても、啓発を続けてきたことで、分別の精度が向上してきたと考えている。令和 3 年度に集中して周知・啓発を行うが、その後も引き続き啓発を行っていききたい。

委員：単身者向けの集合住宅は、なかなか周知が行き届いていないと感じる。大きい収集カレンダーのようなものを、集積所に張り付けると、周知が進み、不法投棄も減ると思う。

市：集合住宅の集積所については、管理会社との役割分担も考慮に入れ、清掃事業所とも連携して対応したい。

### 3. 令和 2 年度 市内各店舗でのマイバッグ持参率について 【意見、質疑応答等】

委員：レジ袋の有料化を契機に、マイバッグがかなり浸透してきたと感じている。さらに啓発を進めてほしい。

委員：シニアクラブで聞いてみたところ、およそ 7 割がレジ袋を辞退している。辞退しない理由としては、万引きと間違われるのが嫌だという人がいた。

市：機会を見て、商工会議所や市の産業振興部門に、そのような意見があることを伝える。

委員：お店によっては、会計が終わるまではマイバックを出さないでほしいとアナウンスしている。消費者側の誤解を招かないようにする意識も大事。

委員：レシートも捨てないようアナウンスしているところもある。レシートがあれば、疑いをかけられても、万引きをしていないと証明できる。

委員：レジ袋が有料化になったことで、ごみの減量が進んだという実感はあるか。また、今後の啓発について、レジ袋以外のプラスチック製品の使用を減らしていくために、マイクロプラスチックが飲料とともに体内に入っている、プラスチック製品を使用することで、石油資源が枯渇していく等、様々な側面の関連性を持たせながら訴えていくことが効果的である。

市：全体のごみの重量に占める、レジ袋の割合は非常に小さいので、数字としての減量効果は表れにくい。また、今年の 8 月にマイクロプラスチックの特集を市の広報で行ったところである。今後も委員の意見を参考に啓発を進めていきたい。

	<p>委員：ニトリがペットボトルからカーペットをつくる CM を流している。関東近辺でこのような取り組みをしている事業者はないか</p> <p>市：将来的に、プラスチックの使用は減少していくだろうが、プラスチックは優れた素材であり、代替品はまだ出てきていない。そうすると、リサイクルの取り組みが今後も重要視されてくると考えている。優れた取り組みをしている事業者はあるはずなので、研究し事例を委員の皆様に紹介したい。</p> <p>市：セブンイレブンがペットボトルからペットボトルを作る取り組みを行っていたり、市内ではエフピコという事業者が、食品トレーなどのリサイクルを行っている。事例の紹介は今後検討する。</p> <p><b>その他</b></p> <p>令和3年度ごみゼロ社会推進協議会の日程について</p> <p>市：令和3年度は3回の開催を予定している。詳細は文書にてお知らせする。</p> <p><b>座長から</b></p> <p>会議録の署名については、間嶋委員にお願いする。</p>
<p>会議録 署名人</p>	<p>令和 年 月 日 署名人</p>